

紫雲英

第75回中部日本高等学校演劇大会 12月25日(日) 3校目

暁高等学校「むこう側とこっち側と間側」作:林 寛祐

○あらすじ

自分の中にある様々な顔、良い子の自分、明るく元気な自分、内気で孤独が好きな自分、どれが自分なのか、そもそも自分とは何か、自分の事が分からなくなった私のお話。

○楽屋インタビュー

Q1 演出で一番こだわったシーン

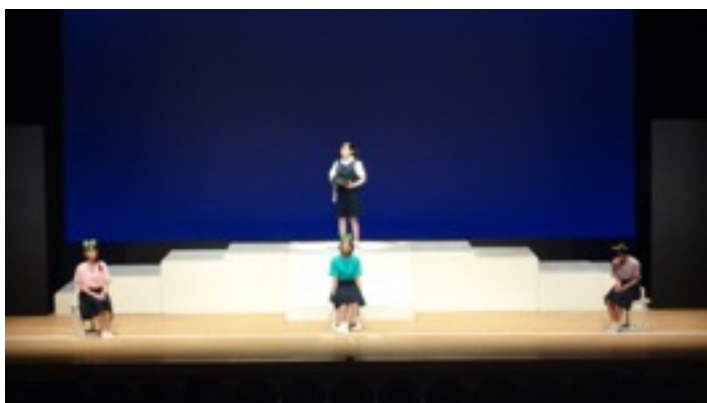
A 最後のシーンでおば婆とJの動きと感情のつけ方を沢山話し合ってたので一番大変でした。

Q2 装置を階段と台のシンプルな装置にした理由

A 上と下で空間を分けたかったから階段を付けて空間わけが出来るように、また、お客さんが分かりやすいようにシンプルな装置にしました。

Q3 公演を終えて一言

A ずっと公演前は緊張していたけれど上演したらあっという間で、終わった後は全員が遣り切った楽しかった顔をしていたのでとても良かったです。



【速報担当】パンめ (岐阜各務野)

暁高校のみなさん おつかれさまでした！